

日本赤十字社臨床工学技士会
会員各位

令和3年度の当会の運営に関わる重要なお知らせ

日本赤十字社臨床工学技士会会長 脇田 邦彦
(旭川赤十字病院)
学術委員会委員長 開 正宏
(名古屋第一赤十字病院)
第10回全国研修会開催長 前田 充徳
(日本赤十字社和歌山医療センター)
総会運営・規約改定委員会委員長 福田 勇司
(松江赤十字病院)



日本赤十字社臨床工学技士会会員の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素より当会運営に対しましてご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年初めから続いている新型コロナウイルス騒動が全国において収束の兆しが見えない状況が続いておりますが、皆様の施設でも新型コロナウイルス感染患者対応、さらには重症患者に対し人工呼吸管理やECMO管理など命を張って責任を果たしていることと思います。皆様のご活躍に敬意を表します。

さて、常任理事会で決定した運営に関わる重要な内容についてお知らせ致します。

1. 第10回日本赤十字社臨床工学技士会総会および全国研修会の再々延期について

例年4月に開催されてきた総会および全国研修会ですが、今の状況では今年度に続き次年度(令和3年4月)も延期せざるを得ない状況であることはご理解頂けると考えます。

令和3年2月5日の常任理事会において検討した結果、役員をはじめ開催長を務められる日本赤十字社和歌山医療センターの前田 充徳様のご意見はWEB形式で開催するのではなく、和歌山に集まって一同が顔を付き合わせて大いに勉強して強い絆を築くという本来の形で開催したいとの思いが強く、再々延期をして令和4年4月に和歌山での開催を目指すことで一致しました。

2. 令和3年度総会議案書の書面議決について

令和3年度の会務を遂行するにあたり、総会議案書について皆様のご承認が必要となります。そこで当会規約 第4章総会 第22条「定期総会は年1回開催し、会長が招集する。但し、会員の1/3の同意がある場合には、書面又は電子的方法による議決権の行使を認め、その招集手続きを省略することができる。」に則り、昨年と同じ方法で書面決議をお願いすることに致しました。

3. WEBを用いたショートセミナー開催の企画について

全国研修会を再々延期するにあたり、平日の勤務終了後に1時間30分程度の短い時間でトピックス的なテーマを設定してWEBセミナーを企画し質疑応答をしてはどうかという意見があり、まずは新型コロナ感染対策というテーマで各赤十字病院の取り組みをプレゼンしていただき知識・連携を深めたいと思います。これについては企画がまとまり次第皆様へお知らせ致します。

引き続き厳しい社会情勢の中での活動になりますが、以上の内容につきまして皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

事務局 〒231-0682 横浜市中区新山下3-12-1
横浜市立みなと赤十字病院 臨床工学部
事務局長 皆川 宗輝
TEL: 045-628-6100